

# 令和7年度入学者選抜試験

## 学校推薦型選抜問題

### 小論文 (120分)

(看護学科・現代福祉学科・子ども学科)

#### 注 意

- 1 解答開始の合図があるまで、この注意事項をよく読んでおいてください。  
ただし、問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、6ページあります。
- 3 解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚あります。解答用紙には解答欄以外に受験番号欄と氏名欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入してください。  
ただし、得点欄と整理番号欄は記入してはいけません。  
なお、解答は最初のひとマスを開けず、改行せずに続けて記入してください。  
また、行末以外は句読点も1文字分として当ててください。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 問題冊子は、どのページも切り離してはいけません。
- 6 試験終了後、問題冊子および下書き用紙は持ち帰ってください。

**問題 1** 次の文章は、「自立と自己決定—障害者の自立生活運動における「自己決定」の排他性—」という論文の一部です。この文章を読んで、設問 1 および設問 2 に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

《参考》

(著) 星加 良司
自立と自己決定—障害者の自立生活運動における「自己決定」の排他性—
ソシオロゴス編集委員会、ソシオロゴス NO.25 2001 年
160 頁～175 頁までを抜粋して引用

著作権の観点から、公表していません。

(出典：星加良司著 「自立と自己決定—障害者の自立生活運動における「自己決定」の排他性—」より抜粋 (ただし一部改変している)、ソシオロゴス (25) 160 - 175 2001年)

**設問 1** 下線部①の「自己否定」のメカニズムについて、100字以内で説明しなさい。(40点)

**設問 2** 自立生活を支援する専門職の役割について、下線部②の「新たな自立概念」をふまえて400字以内で記述しなさい。(60点)

**問題 2** 次の文章は、『子ども観の近代—『赤い鳥』と「童心」の理想—』という著書の一部です。この文章を読んで、設問 1 および設問 2 に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

《参考》

(編著) 河原和枝
子ども観の近代 『赤い鳥』と「童心」の理想
中央公論新社、1998 年
6～7 頁, 9～11 頁を引用

著作権の観点から、公表していません。

(出典：河原和枝著『子ども観の近代—『赤い鳥』と「童心」の理想—』より抜粋(ただし一部改変している)、中央公論新社 1998年)

出題者注

- \*1 ヴァン・デン・ベルク；オランダの精神病理学者
- \*2 心性史；戦争や革命といった政治を動かした「事件」を描くことが主流であった従来の歴史学に対して、人間の心的傾向や考え方など歴史の深層において長期的に持続するものに目を向けた歴史学の手法であり、アリエスも属するフランスのアナール学派がその中心的な学派である

**設問1** モンテーニュが、『随想録』の中で、「子どもが成人する、という人生の一段階に関しては、まったく触れていない」（文中下線）理由を、ヴァン・デン・ベルクはどのように考えているか。「子ども」と「大人」を用いながら 80 字以内で説明しなさい。（40 点）

**設問2** <子ども>の誕生を契機として、子どもをめぐってどのような変容が生じたか。本文の言葉を用いながら 380 字以内で記述しなさい。（60 点）